



つながる ひろがる

# 磯子区 地域運営補助金 交付団体 活動事例集



# 地域のための活動を つなぎ ひろげたい

こんな思いから、この事例集を作成しました。

磯子区では、たくさんの区民の方が、  
地域のために、さまざまな活動をしています。

内容や目的はさまざまですが、

どの活動にも **地域やそこに住む人を  
大事に思い、  
地域を良くしたい  
という思いがあります。**










- ・子どもたちの安全・安心を守りたい
- ・顔の見える関係をつくりたい
- ・子どもたちが全力で楽しめる場をつくりたい
- ・地域を知り、地域に愛着を持ってもらいたい
- ・地域ぐるみで子どもたちを温かく見守る環境をつくりたい
- ・人と人とをつなげ、ともに笑顔で暮らせるまちをつくりたい
- ・地元の豊かな自然環境に関心を持ってもらいたい
- ・地域や人とのつながりを深めたい……

事例集を通して、同じような思いを持ち、  
これから活動を始めようとする人、既に活動をしている人の  
新たな一歩につなげたいと思っています。

## CONTENTS

## 目次

### 各団体の活動事例

 上笹下健康推進協議会	2
 地域元気づくり連合会	4
 浜中学校区地域安全委員会	6
 洋光台交流づくり地域会	8
 根岸にちにち交流会	10
 磯子いそご地域と親子交流会	12
 屏風浦みりよく再発見プロジェクト	14
 <sup>らぶ</sup> ♡まち洋光台	16
 ENJOY 上笹下こどもりホッツ	18
磯子区地域運営補助金について	20

# 上笹下健康推進協議会

(現 上笹下ランニングクラブ・  
現 プチヨガの会)

活動の経過 平成 **23** **24** **25** **26** **27** 年度 ※補助金交付年度は、  
白抜き文字



プチヨガ教室

## 活動を始めたきっかけ

上笹下健康推進協議会は、東日本大震災の際に**地域連帯の必要性**を感じたことをきっかけに発足しました。**地域交流**を主な目的に老若男女を問わず参加でき、健康増進につながることから地域で取り組まれていた**ランニングやヨガ活動を基盤にして、自治会町内会、保健活動推進員会などが連携**し、平成23年から活動を開始しました。

## 補助金交付時の活動内容

### 構成員

上笹下連合自治町内会、上笹下保健活動推進員会、  
上笹下地域ケアプラザ、上中里地区センター、上笹下ランニングクラブ、  
磯子区食生活等推進委員会上笹下地区

## 主な活動

### ●プチヨガ教室

リラックスする音楽とアロマの香りに包まれて、優しいヨガと呼吸法、タイ式マッサージを行いました。

### ●ランニングクラブ

磯子区民駅伝大会に向けて、月1回、氷取沢市民の森を走ったり、小学生は「氷取沢農専陸上運動部」として、朝練をしていました。

### ●健康ウォーキング

20人程度が集まり、氷取沢の紅葉や富士山のビューポイント、円海山の畑から見える景色など上笹下地区の自然を楽しみながら、ウォーキングを行いました。

### ●シニア男性自立のための料理教室

「自分の健康は自分で考える」というテーマで、上笹下地区のヘルスメイトなどが講師となり、スパゲッティ、太巻き寿司、焼売、参鶏湯など、さまざまな料理を作りました。



シニア男性の料理教室

## 現在の活動の様子

現在は補助金の交付は終了しており、上笹下健康推進協議会は発展的解散、自主組織として、上笹下ランニングクラブとプチヨガの会の2つがそれぞれ参加者の参加費や協力者による支援で活動しています。

### ●上笹下ランニングクラブ

#### ●氷取沢農専道コスモスマラソン大会

幼稚園年長から70歳のレジェンドランナーまで幅広い年齢層の方19名が参加していました。

上笹下ランニングクラブの頭文字である「KRC」の青いチームTシャツが一齐にスタートすると、ゴールに向かう参加者の本気の走りに、応援にきた家族から声援が飛んでいました。



ランニングクラブ

子どもは大人に負けない走り、大人は大人気なく、子どもに負けない走り、毎回全力で楽しんでます。

#### ●第7回磯子区民駅伝大会

「KRC」からは、小学3、4年生の部、小学5、6年生の部、連合女子の部、連合男子の部、シニア男子の部、一般男子の部の6部門にエントリー。タスキをつなぐため、真剣に走る姿に圧倒され、感動しました。



氷取沢農専道コスモスマラソン大会

### ●プチヨガの会

#### ●ヨガとタイ料理ランチパーティー

上笹下地域ケアプラザで日頃からプチヨガの会でヨガを教わる生徒さんが集まり、ヨガ教室終了後「プチヨガ夏のランチパーティー」を開催しました。

タイ在住経験のあるヨガの先生に教わりながら作ったタイ料理は、好評で、「外で食べるタイ料理より美味しい」「食材はどこで手に入るのですか」など、大いに盛り上がりました。



ランチパーティー



この日のメイン料理「タイ風焼そば」ほかに、タピオカミルクを作りました。

## 活動を続けていくための工夫はありますか？

「どうやったらみんなが楽しめるか」を考えて活動していたら、多くの方が集まってくれて、ここまで活動を続けることができました。

これからも、地域のつながりを大切に大きく育てていきます！



区民駅伝大会

上笹下ランニングクラブ代表 平野さん

## 補助金を活用するメリットはなんですか？

初めての活動で、参加者からお金をいただいて運営していく責任などを考えると、とてもハードルが高いうる感じました。

でも、**補助金を活用**する事で、**活動の第一ステップに踏み出すことができました。**

自分のやりたい事を実現するために、いろいろな方法をうまく活用する事が大切なんですね。



プチヨガの会代表 西山さん

ホームページで活動状況を確認できます！

上笹下ランニングクラブ

プチヨガ教室

# 地域元気づくり 連合会



昔あそび広場

## 活動を始めたきっかけ

地域元気づくり連合会は、主に商店街の活性化を目的に平成20年から活動をしてきました。平成23年度からは、商店街に留まらず、**地域の人を巻き込み、地域に根差した活動とするために、補助金を活用**して広報紙の発行や地域での仲間づくり講座、地域イベントなどを行ってきました。

## 補助金交付時の活動内容

### 構成員

滝頭地区連合町内会、根岸橋商店街、丸山日用品市場、滝頭小学校おやじの会、NPO法人夢コネクト

## 主な活動

### ●昔あそび広場

ベーゴマやわなげ、竹馬遊びができるブースや駄菓子の露店も並び、大人も子どもも楽しめるイベントを実施しました。

### ●街角コンサート

小学校の brass バンドクラブや中学校の吹奏楽部などを中心に、コンサートを実施しました。

### ●「地域元気通信」の発行

活動を知ってもらうため、実施したイベントの内容を紹介する「地域元気通信」を年4回(800枚/回)発行し、区内公共施設や根岸橋商店街の各店舗で配布しました。

### ●地域での仲間づくり講座の開催

プロに教わるコーヒー講座、暮らしに役立つハーブ、アロマ講座などの講師を地域に関係の深い人にお願いすることで、地元の人々の顔を知り、継続した関係づくりを目指しました。

## 現在の活動の様子

現在も、根岸橋商店街を主な会場として、地域の人々を中心に活動を続けています。

### ●昔あそび広場

6月、昔あそびを通して、子どもからシニアまで多世代が楽しめる「昔あそび広場」を開催しました。駄菓子屋、竹馬、糸電話、お手玉、輪投げ、ベーゴマなどたくさんのブースが並びました。紙芝居やまりつき大会などのアトラクションもあり、商店街の通りは多くの人で、にぎわっていました。

大人には懐かしく、子どもには新鮮な「昔あそび」を通して、商店街と地域の賑わい創出、地域の人々が交流できる場づくりにつながっていました。

### ●街角コンサート

11月、地元有缘のある方々によるコンサートを開催しました。

地元歌姫が美空ひばりの名曲を歌うと、観客の方も口ずさんだり、リズムを取ったりする場面も。

地元商店街提供の景品が当たる抽選会では、当選番号が発表されるたびに、歓声が上がりました。会場は大いに盛り上がっていました。



「街角コンサート」ボサノヴァ演奏



昔あそびブース「あやとり」

大人も子ども関係なく、夢中になっている人たちがいっぱい!



昔あそびブース「竹馬」

“昔遊び名人”の地域の皆さんが「昔あそび」を教えてくださいなよ。



「街角コンサート」会場の様子

ホームページで活動状況を確認できます!

根岸橋商店街ホームページ <http://www.negishihashi.com/>

根岸橋商店街  検索

## 代表の堤さんにお話を伺いました!

### 地域に根差した活動や広報など、活動の手応えはいかがですか?

以前は商店街のメンバーが前面に出ていましたが、現在の主力は地域のボランティアさんです。彼・彼女らを通じて、さらに活動の輪が広がる。これが一番の成果で、商店街活動から地域活動へと成長していると感じています。

### 活動が継続している理由は何ですか?

ひとつは、**横のつながりで運営**されていることです。上からの命令ではなく、気持ちを持った人たちが、お互いの得意分野を活かしながら自主性を持って活躍しています。そして、**やって良かったと思える**こと。協力してくれた人や団体が自分たちの力を発揮し、満足してくれたことが次につながります。もうひとつは、**エースをつくらない**こと。誰か1人だけの力でなく、それぞれが力を発揮すること。そうすれば、たとえ誰かが抜けても活動を続けることができます。



地域元気づくり連合会代表 堤さん

# 浜中学校区 地域安全委員会

活動の経過 平成 **23** **24** **25** **26** **27** 年度 ※補助金交付年度は、白抜き文字



のぼり旗のお披露目

## 活動を始めたきっかけ

浜中学校区では、平成21年頃から平成23年頃にかけて変質者が多く発生し、露出などの被害に遭う事件が多く発生していました。その対策として、「\*4校を語る会」と地域の方とが協議し、犬の散歩の時間を少し変えていただいたり、気になる時間にちょっと外出していただいたりなど、「できる範囲での見守り」を行っていただきました。

浜中学校区地域安全委員会は、この活動の強化のため補助金を活用し、既に活動をしていた「4校を語る会」を母体に活動を開始しました。

※ **4校を語る会**: 横浜市立浜中学校とその学区内にある杉田、梅林、さわの里小学校の3校と杉田地区連合町内会とが連携し地域のさまざまな問題の解決に取り組む会です。

## 補助金交付時の活動内容

### 構成員

杉田地区連合町内会、杉田地区青少年指導員協議会、浜中学校、さわの里小学校、杉田小学校、梅林小学校、各小・中学校PTA、各小学校学援隊

### 主な活動

生徒や地域の安全・安心のため、さまざまな取組を行いました。

- 浜中学校への防犯モニター設置
- オリジナルのぼり旗の設置
- 地域住民やPTA役員の防犯用腕章装着



## 当時の活動の様子

### ● 浜中学校への防犯モニター設置

平成23年度(初年度)は、見守り活動を強化するために、浜中学校内に、教職員や学校支援者が視認できるモニターを設置しました。浜中学校内を抜ける生活道路(夜間は閉鎖)から、グラウンドまで一望でき、安心して過ごすことのできる学校施設の実現は、大きな成果でした。



のぼり旗の設置

### ● オリジナルのぼり旗の設置

平成24年度(活動2年目)には、浜中学校学区内に通学する小中学校の児童・生徒にデザインを募集(合計88点)し、「オリジナルのぼり旗」150枚を作成しました。完成の際には、周辺地域と児童生徒の安全につながることを願い、オリジナルのぼり旗のお披露目と設置活動を行いました。

お披露目会当日、デザインが採用された生徒は「がんばって書いたので、選ばれて良かったです」と嬉しそうに挨拶していたそうです。この生徒のデザインは「いそごっこは安心安全な町に住んでいると自慢したい」というメッセージとともに、さまざまな人たちの笑顔が描かれており、この町が皆の笑顔で見守られることを表現しています。

そのほかに、浜中学校を利用するPTA役員や地域住民の方々に防犯用の腕章の装着などをお願いしました。



のぼり旗のお披露目

当時、会の代表をされていた方と浜中学校で活動をしていた先生にお話を伺いました!

## 印象に残る 活動はありますか?

やはり、オリジナルのぼり旗ですね。多くの生徒さんの応募から選ばれた作品で、いろいろな人の笑顔が描かれ、目を引きまます。新鮮なデザインで、地域での評判も良かったと思います。



## 地域活動を解決した 手応えはありましたか?

この活動を通して、変質者の発生件数はかなり少なくなりました。また、地域の皆さんが、普段から危険な場所を認知し、防犯や安全を意識して行動していただけようになったことも大きな成果だと思います。



## 現在は…

浜中学校区地域安全委員会としての活動は終了していますが「4校を語る会」としての活動を継続しています。また、「オリジナルのぼり旗」については、適宜補修や旗の付け替えを行うことで、現在もなお地域の安心安全につなげています。

# 洋光台 交流づくり 地域会

活動の経過

平成 24 25 26 27 年度

※補助金交付年度は、  
白抜き文字

季節の造花の飾り付け

## 活動の様子

### ●中学生による商店街訪問インタビュー

商店街約10店舗の協力を得て、インタビューを実施しました。生徒たちは「お店をやっているのは難しいことは?」、「お店をやるために必要なことや資格は?」などの質問をし、**お店の人の話を真剣に聞いてメモをとっていました。**

インタビュー終了後は笑顔で「緊張したけれど、お店の人がどういう気持ちで働いているのか聞いて面白かった。商店街の人が自分のお店だけでなく地域のいろいろなことを考えていることがわかって、お店の人を見る目が変わった」と話していました。

生徒たちにとって、身近な地域としての商店街・お店の存在について学び、また、仕事をすることについて考えるきっかけとなりました。



職場訪問インタビュー



### ●広場の飾り付け・美化

●広場を通る地域の方々に季節感を味わってもらうために、季節の造花を飾り付けました。高所などの作業も**地域の人と協力して行いました。**

広場が明るく華やいだ雰囲気になりました。



飾り付けた造花



鯉のぼりの色付け



広場に飾られた鯉のぼり

●端午の節句に向けて、鯉のぼりを思い思いに色付けしました。5月にはサンモール広場に商店街が集めた鯉のぼりと共に飾られ、広場を賑わせました。

●多くの地域の方が通るサンモール広場の清掃を行いました。汚れたタイルをブラシで磨くなど、地域の人たちが、**自分たちで地域をより良くしていこうと活動している姿を見て、通りがかりの人が足を止めて話しかけている光景が印象的でした。**

## 活動を始めたきっかけ

少子高齢化が進むなか、洋光台地区においても、将来の社会の担い手となる青少年の育成は地域全体で取り組むべき重要な課題です。

「洋光台交流づくり地域会」は、自治会町内会、商店街と中学生との交流による、地域における青少年の見守りや地域住民の顔の見える関係づくりの推進、さらに駅前の商店街の賑わいの促進と洋光台地区の活力の向上を目的に活動を始めました。

## 補助金交付時の活動

### 構成員

サンモール洋光台商店街、洋光台第一中学校、  
洋光台中央団地自治会、洋光台北団地一街区自治会

## 主な活動

洋光台駅周辺のサンモール広場と商店街を活用し、地域・商店街・中学校の交流活動を行いました。

- 中学生による商店街訪問インタビュー
- 広場の飾りつけ・美化
- 中学生の写真等の作品展示



中学生の写真等の作品展示



## ～柿木代表(当時)・サンモール洋光台商店街会長に伺いました～

### 交流を行う中で、うれしかったことは?

インタビューで商店街に来た中学生が、後日地域で会ったときにあいさつをしてくれました。やはり嬉しかったです。家族と一緒に、インタビューをしたお店に来てくれることもありました。

### 活動の手応えは?

交流会に参加しているメンバー間では、3年間の活動や準備を通して、顔の見える関係ができました。近隣の他の中学校からも参加したいと依頼があり、職場訪問などの交流を行うようになりました。

### 今後の展開は?

補助金を使った活動は平成26年度までで終了しましたが、中学校からの訪問の受入は今後も継続して行っていく予定です。これまで行ってきた1年生のインタビューに加え、27年度から2年生が職業体験に来ることになりました。地域と学校だけでなく商店街の場を使ったこのような取組が、洋光台地域全体にもっと広がってほしいと思います。



柿木代表(当時)

# 根岸にちにち交流会



折り紙教室

## 活動を始めたきっかけ

根岸駅前地域は高齢者居住率が高く、これまでもシニアクラブなどを中心に高齢者同士の交流などの活動を行ってきました。しかし、無縁社会が問題視されている中、その活動をクラブ加入者だけではなく、地域全体の課題として取り組む必要性が出てきました。

そこで、平成24年度から自治会と地域の関係団体が連携し、根岸駅前地域における**多世代交流、子どもたちの見守り活動、自治会間交流などの活動を通じて『顔の見える関係づくり』**を目指して活動を開始しました。現在も各自治会からの支援と参加費で活動を続けています。

## 補助金交付時の活動内容

### 構成員

ソフトタウン根岸 壱・弐・参番館自治会、ソフトタウン根岸シニアクラブ、ソフトタウン根岸子ども会、根岸駅前ビル自治会、根岸ベイアーク自治会、根岸ダイヤモンドマンション自治会、根岸地区青少年指導員、根岸地区スポーツ推進委員、根岸地区民生委員・児童委員、根岸地区保健活動推進員、根岸地区赤十字奉仕団員、根岸地区家庭防災員

## 主な活動

### ● 多世代交流サロンの運営

年20回程度のサロン活動を実施し、一人暮らし高齢者の把握や声かけ活動などを行いました。

最近は活動が安定してきて、毎回30名程度の参加者がおり、会のファンもいます!



### サロンでの活動

- 折り紙教室
- 手芸を楽しむ会の開催
- 春の歩け歩け会 (@久里浜花の国)
- ホタルの夕べ (ホタル観賞会 @三溪園)
- 健康チェックデー (身長、体重、血圧測定)
- 七夕飾りづくり
- 写経教室
- 根岸書初め大会
- 歌声喫茶 などなど。

### 月1回の定例会

- 会のスタッフが集まり、2か月程度先の予定まで話し合います。

## 現在の活動の様子

### ● 折り紙教室

ソフトタウン根岸の集会室に、多くの人が集まり、折り紙を楽しんでいます。この日、皆さんが折っているのは、松竹梅の祝い鶴。松竹梅の形に似せた3羽の鶴は、普通の折鶴より複雑です。

折り方を教えているのは、地域ケアプラザなどで折り紙を教えている、にちにち交流会のスタッフです。複雑な折鶴なので、1人で折るのは難しく、周りの人たちと会話をせずにはられません。



「ここは、どうなっているの??」  
「ここはこう折るのよ。」  
「全然できない・・・」  
「簡単よ」  
「眠くなっちゃった・・・」と、  
さまざまな声が聞こえ、にぎやか。



「こうやって、がやがやとやるのが良いんだよね」とスタッフが楽しそうに話していました。参加者が折り紙に疲れてきたタイミングで、お茶とお菓子が提供され、一休み。とても居心地の良いサロンです。

## 根岸にちにち交流会の皆さんにお話を伺いました!

Q 活動を続けていくうえで大切なこと、ポイントはなんですか?

さまざまな良い企画をしても、人を集めることは難しいと思う。にちにち交流会では、最低限の人が集まること、活動している自分たちが**楽しんでいる**ことが続いているポイントかなあ。

楽しくなかったらやっていないよ。

Q 連携して活動することの良いことはなんですか?

単に団体といっても、それぞれ個性があるでしょう? 例えば、企画力にあまり自信がない団体や人を呼ぶ力をつけたいと思っている団体が、アイデアや動員力のある団体と一緒にあって、**いろいろなことをうまく補いあえることは、一番の強みだ**と思います。

Q 地域課題解決への手応えを感じていますか?

**とにかくたくさんのサロン活動を実施しています!**

同じことを継続するのではなく、アンケートをとるなど、常に新しい企画を取り入れています。

にちにち交流会の活動は、オープンだし、フリーなんです。

地域課題解決のために何かしましょう、という気持ちでやっているのではなく「この指とまれ」で、参加したい人が参加している。

だからこそ、何か問題があった時には、皆で協力して対応できる関係が築けているのだと思う。



磯子いそご地域と  
親子交流会

活動の経過 平成 25 26 27 年度

※補助金交付年度は、  
白抜き文字

わらじづくり

## 活動を始めたきっかけ

磯子いそご地域と親子交流会は、**親子のさまざまな体験をきっかけに、地域住民と交流し、地域ぐるみで子どもたちをあたたく見守る環境をつくりたい**という思いから、磯子地区連合町内会、青少年指導員、主任児童委員、子ども会連絡協議会、PTAなどが連携して、平成25年度から活動を始めました。

## 補助金交付時の活動

## 構成員

磯子地区連合町内会、磯子地区青少年指導員、磯子地区子ども会連絡協議会、地区主任児童委員、磯子小学校PTA、浜小学校PTA、山王台小学校 父母と教職員の会、地域協力者

## 主な活動

## ●地域で活躍するプロに学ぶ体験教室

- 地元建具店の方を講師に迎えた木工細工教室
- 地元和菓子屋さんを講師に迎えた和菓子づくり体験
- 地元食品サンプル会社の方を講師に迎えたマグネット制作 など

## ●和太鼓ワークショップと講師による実演

太鼓のたたき方やリズムの取り方などを、親子で教わり、実際に先生のリズムに合わせて叩き、最後には先生の和太鼓と篠笛奏者のコラボ演奏を鑑賞しました。

## ●磯子の昔ばなし紙芝居

磯子の昔ばなしに基づき作成したオリジナル紙芝居「せっけんはじめてものがたり」と「たくあんだいみょうじん」など、地域にまつわる作品を上演しました。

## ●わらじ作り体験

親子でビニール紐からわらじを編み上げました。

◀食品サンプルで作った  
マグネットの作品例

## 活動の様子

## ●わらじ作り体験

10組近くの親子が山王台小学校の図書館に集まり、わらじづくりを体験しました。

お母さんたちに見守られながら、子どもたちは、自分の足のサイズに合わせて真剣にわらじを編んでいました。静かだった会場も、わらじの形ができ上がってくる頃には、子どもたちの興奮した声で賑やかに!

自分で編んだわらじを履きながら、誇らしいような、恥ずかしそうな、子どもたちの素敵な笑顔が印象的でした。

誰が一番最初に  
できるかな?

サイズはどうか?



紙芝居

## ●磯子の昔ばなし紙芝居

わらじ作りの後は、スタッフによる磯子昔ばなしの紙芝居が上演されました。日本で初めて石けんを作った堤磯右衛門のお話です。磯子区で、日本最初の石けんが作られたことに、多くの参加者から驚きの声が上がりました。



## うれしかったこと!

イベントに参加した小学生が、後日、講師となってくれた「地域のプロ」のお店に足を運んだ話をしてくれました。「これぞ地域との交流だな!」と、とてもうれしかったです。

イベント参加者が、磯子の昔ばなし紙芝居(日本で初めて石けんをつくった堤磯右衛門のお話)をきっかけに、関係資料がある開港資料館に足を運んでくれたことを聞いたときは、とてもうれしかったですね。

## 苦勞したことは?

3年目の現在は、簡単にイベントの内容を決められるようになりましたが、1・2年目は「何をやろうか?」というところからのスタートでしたので、苦勞しました。当時の会長さんたちは、本当に大変だったと思います(途中委員の変更がありました)。

最初は「地域のプロに学ぼう。」をテーマに、木工づくりや和菓子づくりを地元のプロから学ぶイベントなどを実施していました。

さまざまな立場の人がスタッフとして連携することで、それぞれのつながりを活かした活動ができています!

普段は会議でしか会うことのない団体の皆さんと、1つのテーマを通じて、じっくり向き合えたことが良かったです。より関係が深まったと感じています。

# 屏風浦 みりよく再発見 プロジェクト



プレ・まち歩き

## 活動を始めたきっかけ

屏風ヶ浦地区には、地域住民にあまり知られていない魅力的な地域資源や歴史がたくさんあります。

屏風浦みりよく再発見プロジェクトでは、**地域資源や歴史などの情報を探究**し、まち歩きの開催やニュース誌の発行などで**地域住民へ発信**することにより、**地域への愛着やネットワークの拡大などの地域活性化を目指しています。**

## 活動内容

### 構成員

屏風ヶ浦地区連合町内会、屏風ヶ浦地区子ども会連絡協議会、  
屏風ヶ浦地区老人クラブ、屏風ヶ浦地区青少年指導員協議会、  
屏風ヶ浦地区スポーツ推進委員連絡協議会

## 主な活動

現在は自分たちが学んだ情報を地域住民に発信すべく、まち歩き開催のためマップづくりに取り組んでいます。

- 屏風ヶ浦の地域資源・歴史資源についての情報集め
- 屏風ヶ浦地区の歴史に詳しい“地域の達人”による講演会の開催
- まち歩きによる一部現地調査を実施



## 現在の活動の様子

1年目(平成26年度)は、屏風ヶ浦地区の「むかしの漁業、農業や人々の暮らし」などについて“地域の達人”に講演を依頼したり、屏風浦小学校の「資料室」見学などで基礎知識を学習したり、まち歩きの予定コースの下見や現地調査(屏風浦駅～林光寺～清水坂～森中～皇修寺～屏風浦駅)を行うなどの情報収集をしました。

こうした地域情報の数々は、会のメンバーも知らないことばかりで、回を重ねるごとに**屏風ヶ浦の魅力**を再発見し、**どんどん活動が楽しくな**っていきま

した。  
2年目(平成27年度)は、まち歩き開催のためのマップづくりに取り組んでいます。ポイントごとに解説も付けたオリジナルのマップは、何度も検討を重ね、苦勞して作成してきたものです。会のメンバー以外にも参加を募って実施した「プレ・まち歩き」は、本番に生かせるさまざまな収穫がありました。



“地域の達人”による講演会



マップづくり

“地域の達人”の話を聞いた  
りして、地域の情報を調べてい  
ると、自分も知らない情報がた  
くさん集まりました!  
毎回「は～っ!」と感心するこ  
とばかりで楽しかった!

今回は「山側の歴史」を  
巡りました!

今回作った地図で「まち歩  
き」を開催すれば、その魅力  
をまだ知らない地域の人たち  
に「屏風って、こんなところだ  
ったんだ」とすぐに分かって  
もらえると思うよ!



これからの  
活動が  
楽しみです!

次は「現在」「海側」が  
キーワード?!

次は、「現在の屏風ヶ浦地区  
の魅力」ということで、海側の  
工場地帯を歩いても良いん  
じゃないかなという案もあり  
ます。





キャンドルナイト@洋光台

## 活動を始めたきっかけ

♡まち洋光台は、洋光台のまちを愛する住民・団体が連携し、**多世代がともに楽しめるイベント**を実施することで、**人と人をつなげ、ともに笑顔で喜ばせるまちづくり**を目指して、平成26年度から活動を開始しました。

## 活動内容

## 構成員

洋光台一丁目町内会、洋光台四街区自治会、洋光台まちづくり協議会、洋光台駅前公園愛護会、洋光台一丁目クラブ、一般社団法人 re net 結

## 主な活動

## ●キャンドルナイト@洋光台

牛乳パックを自由に切り抜き作成したキャンドルホルダーの中に、キャンドルを入れ、優しい灯りで洋光台駅前公園や地域を照らす幻想的なイベントです。



## ●きッズマーケット@洋光台

子どもが自由な発想で企画運営するフリーマーケット。大人は口出し厳禁、サポートに徹することで、子どもの自主性を育みます。

## ●お湯カフェ

子どもから大人までが集う「居場所」としてのカフェを開き、人と人とのつながりを作ります。

## ●各種講座・相談会

●手作りクラフト教室 ●大人のための携帯電話教室 ●キャンドルホルダーづくり など

## 活動の様子

## ●キャンドルナイト@洋光台

半年前から実行委員会を中心に、地域の人や学生ボランティアと協力しながら、約2,000個のキャンドルを準備しました。キャンドルホルダーは使用済みの牛乳パックを再利用して作成。窓をつくったり、屋根をつけたり、オリジナルの「おうちキャンドル」は公園を街に見立て配置しました。普段は子どもたちの声であふれる洋光台駅前公園も、キャンドルの灯りでとても幻想的でした。

## ●きッズマーケット

子どもたちがレジャーシート1枚のお店を開店。何を売るか、お店の名前は何か、アルバイトには何をしてもらおうか、出店料を払っていくら売ったら儲かるか、両替はいくら用意するか、子どもたちが考えて運営しています。お客さんとして参加した子どもたちも、遊んだり、アルバイトをして報酬をもらい買い物をしたり、小さな社会体験の場になっていました。店舗は26を数え、子どもたちが考えた多種多様なお店が並び、会場はとてにぎやかでした。店長さんの中には「来年は実行委員になりたい!」という子もいました。



設営の様子



キャンドルホルダーづくり

## キャンドルナイト

実行委員会の子どもたちが老人会のおじいちゃん、おばあちゃんとキャンドルホルダーを作りながら、お互いの作品を「すごいな」と褒め合って、



お互いに尊敬し合える間柄になっている。

同じことで喜ぶことがすばらしいな、と思います。



## 多世代交流の手応えを実感

## きッズマーケット

5月に開催したきッズマーケットの実行委員会のメンバーは、主に小学生から大学生。そして、サポートに大人を加えて組織されています。お店の配置、銀行や納税などのルールづくり、アルバイト内容の検討、店長説明会など、大人は口出しせず、子どもを中心に、子どもたちのアイデアで決めています。

**きッズマーケットで子どもたちが自主的に行動できる環境**が作られ、それが、キャンドルナイトにも生きていていると感じています。



## うれしかったこと!

26年度のキャンドルナイト参加者はおよそ2,000人、27年度はおよそ4,300人でした。昨年は事務所スペースから遠くまで見渡せましたが、今年は人垣で向うが見えず、音楽も聞こえない状態!

急激な参加者の増加は、作ってくれた子どもたちのご家族が見に来てくれたからかなあ? または昨年の「キャンドルナイトがよかったよ」と聞いた人が来てくれたからかなあ、と想像しています(笑)。

# ENJOY 上笹下 こどもり木ッズ

活動の経過 平成 27 年度

※補助金交付年度は、  
白抜き文字

けん玉教室・腕前認定会

## 活動の様子

## ●けん玉教室&amp;腕前認定会

7月、上中里地区センターで、「けん玉教室」が開催され、15組の親子が参加しました。

小学生名人によるパフォーマンスは素晴らしく、技が成功する度に参加者から「おお〜」と歓声が上がりました。練習後には、腕前認定会に挑戦! 皆さんの前で練習の成果を披露し、級の認定を受けました。

参加者からは、「腕前認定会では緊張してしまった。家に帰ってから練習したい」といった声が聞かれました。



けん玉教室に級認定会があったことで、皆さん、より真剣に取り組んでいましたよ!

## 地域課題解決の手ごたえは 感じていますか?

シニアの方からお子さんまで幅広い世代がイベントに参加してくれたので、**多世代交流につながっている**かな、と思います。

上笹下地区は南北に細長い地形から、人がまとまりづらいう傾向があります。イベントなどの参加者募集もこの地域性を考慮して、広報や募集を実施していかないといけないと思います。

けん玉教室は、お孫さんからおじいさん、おばあさんの世代まで、多世代の交流につながっていたと思います。

## 「第1回 けん玉教室」の 開催を通しての感想は?

開催まで心配のし通しでしたが、実際に開催してみると結構盛り上がり、参加者・主催者に関わらず、皆さんが楽しそうだったのが印象的でした。

次回はもっと大勢で、もっと盛り上がりたと思います。

やるからには、  
本気で良いものを!

## 苦労したことは?

イベント広報の期間が開催日1か月前からと短かったこと、また、申込み方法がメールのみだったこともあり、思うように参加者が集まらず、洋光台地区の小学生にもチラシを配布するなど、開催日ギリギリまで対応に追われました。

## 今後の活動について

上笹下地区は良い環境だということ、私たちの活動を通して、より多くの地区住民の方に気が付いていただき、その良さに触れていただければと思っています。

今後もコミュニケーションの機会と地区のよりどころをつくり、人や自然にやさしい街づくりと、つながりが持てる環境づくりを行っていきたく考えています。

もっとENJOY上笹下こどもり木ッズの存在と活動を上笹下地区の皆さんに知っていただき、他団体とも連携した活動を行っていきたくですね!

上笹下連合自治町内会とこどもりクラブの良さを生かして、これからも協調して活動を展開していきたくと思います。

## 活動をはじめたきっかけ

上笹下地区は、氷取沢市民の森があり、木や森などの自然を身近に感じることができる環境にあります。子どもたちに、もっと身近にある豊かな自然環境への関心を持ってほしいという思いから、木材に触れ、楽しむことを通して、地域や人とのつながりを深めることを目的に、平成27年度からENJOY上笹下こどもり木ZZの活動を始めました。

## 活動内容

### 構成員

上笹下連合自治町内会、  
NPO法人こどもりクラブ

### 主な活動

## ●けん玉教室&amp;腕前認定会

日本けん玉協会のけん玉名人を講師に迎え、けん玉のコツやテクニックを指導してもらいました。また、けん玉「道」の認定をもらえる腕前認定会も行いました。

## ●ギコギコ・トントン大工さん体験

のこぎりやかなづちを使い、家を建築した時などに出た木の端を利用して自由に作品づくりを行います。



小学生名人の技に  
驚きました!

# 磯子区 地域運営補助金 とは

磯子区地域運営補助金とは、さまざまな団体が連携し、地域のために継続して行う活動(地域交流・地域活性化のためのイベント実施など)について、必要な経費を補助し地域支援を行うものです。平成23年度から平成27年度※まで、9団体に補助金を交付しています。(※平成27年10月末時点)

## 1 交付団体の要件

次の要件を全て満たす必要があります。

- 自治会町内会を含む2つ以上の主体が連携している【自治会+(子ども会+青少年指導員協議会など)】
- 民主的な意思決定の場がある【定期的な定例会の開催など】
- 継続的な取組を行っている、又は行おうとしているもの【補助金交付終了後も活動を継続する予定である】

## 2 補助金額

補助対象経費と認められる額の10分の9を上限とし、予算の範囲内で決定します(10分の1は自己負担)。

## 3 補助期間

最長3年間。年度ごとに申請していただき、審査があります。

※磯子区地域運営補助金は、「磯子区地域運営補助金交付要綱」に基づき交付しています。

**協力** 上笹下ランニングクラブ、プチヨガの会、地域元気づくり連合会、浜中学校区地域安全委員会、洋光台交流づくり地域会、根岸にちにち交流会、磯子いそご地域と親子交流会、屏風浦みりよく再発見プロジェクト、  
♡まち洋光台、ENJOY上笹下こどもリモッズ

**発行日** 平成28年1月

**発行元** 磯子区役所地域力推進担当

〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-5-1 Tel:045-750-2398 Fax:045-750-2533

